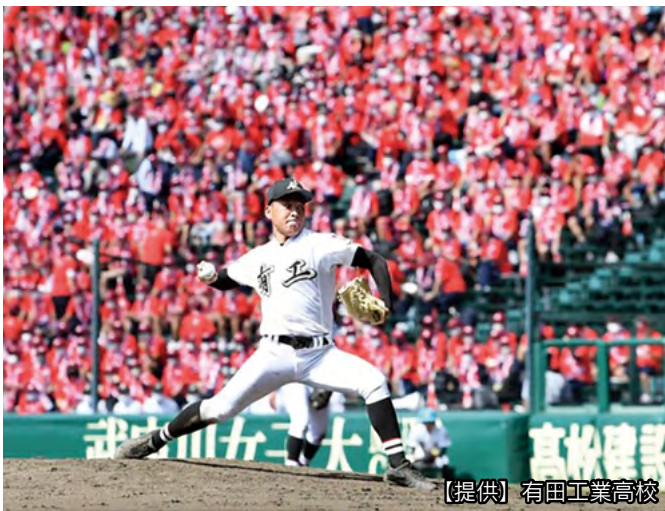


トピック

第104回全国高等学校野球選手権大会

有田工業高校 勝利を目指し全力プレー



【提供】有田工業高校

↑1塁側のアルプススタンドを真っ赤に染めた有田工業高校応援団の声援を背に受け、力投した塚本侑弥投手（山中中出身）

第104回全国高等学校野球選手権大会佐賀県予選大会を勝ち抜き、春夏連続で甲子園への切符をつかんだ有田工業高校野球部主将の上原風雅さん（武雄中出身）と松尾脩汰さん（伊万里中出身）、角田貴弘さん（西有田中出身）が7月29日、深浦弘信市長を訪問し、甲子園大会出場を報告しました。松尾さんは、「甲子園ではチャンスをつくるようなバッティングをしたい。春の選抜大会で果たせなかった『1勝』を目標に頑張りたい」と意気込みを語りました。

甲子園大会のベンチ入りメンバーに市内からは他に、中尾仁寿希さん（伊万里中出身）が選ばれました。

8月13日、大会8日目に登場した有田工業高校は、島根県代表の浜田高校と対戦し、試合は3対5と惜しくも敗れてしまいました。最後まで勝利を目指して、堂々と全力プレーを見せてくれました。

大会を終えた、松尾さんは、「とてもわくわくした」と話しました。松尾さんと中尾さんのインタビュアの動画はこちらから見るができます。



このマークが付いている記事は、市のホームページでもご覧になれます。

2022 (令和4年)

広報伊万里
No.823

9

2 トピック

3 特集
7 農業を知る

8 みんなの広場

9 教育と文化

10 ほがらかページ
11

12 スポーツ

13 インフォメーション
19

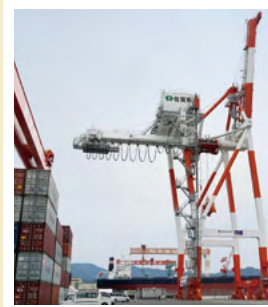
暮らしのチャンネル

20 20-24 お知らせ・募集・試験
25 こんにちは図書館です
26 保健だより
27 市民相談ほか

カブトガニの保護活動

28 編集室から
人の動き

今月の表紙



伊万里港のさらなる港湾機能強化を目指し、佐賀県が伊万里港国際コンテナターミナル（黒川町）にコンテナの荷揚げなどを行うガントリークレーンの2号機を設置しました。クレーンは最高部が約83m、重さは約700tで、11月に稼働が開始される予定です。